

義務教育学校ならではのメリット

教育委員会では、年に1度『教育長訪問』を行っています。教育長はじめ教育委員会事務局や教育委員さんが学校を訪問し、授業参観や帳簿点検などを行っています。

11月8日(金)は、笠原中学校を訪問しました。仲間や教師の言葉に真剣に耳を傾け、積極的に関わろうとする生徒の姿が大変印象的でした。また、廊下ですれ違うたびに笑顔で挨拶し、見知らぬ私たちにも気さくに話しかけてくれました。そんな中、2つの授業(数学・体育)で小学校教員(中学校を兼務)が授業を行っていました。笠原中学校の規模だと全教科で教科専門の教員から学ぶことは難しいわけですが、義務教育学校(準備段階)だからこそ、このような授業が可能となります。これは、義務教育学校化の大きなメリットです！

子ども支援課

多治見市笠原こども園への統合に向け、準備を進めています

(1)建築工事について

現在、新たに増築する部分の工事を進めています。増築部分には、0歳児から2歳児までのクラスと、調理室、職員室を配置します。増築部分の園舎が完成した後、既存園舎の改修工事を行います。

通常の保育を実施しながらの工事となり、皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、これからお子さんの安全・安心を第一に進めてまいります。

(2)統合に向けた調整について

笠原保育園、笠原幼稚園の統合に向け、いろいろな調整、確認を行っています。多治見市の公立園としては初めての認定こども園となることから、私立園や他市の公立園での教育・保育内容を参考にしながら、今後の保育方針や、それぞれの良さを残せるようなカリキュラムの研究、作成など検討を進めています。

教育総務課

笠原小中学校建設工事の進捗状況

7月8日の起工式後に工事がスタートし、旧校舎など地上部の解体工事が終わりました。建物は分別解体し、リサイクル施設へ搬出するなど、環境に配慮した工事を行っています。次は、基礎解体工事に着手します。

進捗状況は、計画通り進んでおり、令和8年4月開校に向けて、安全第一で工事を進めて参ります。

工事期間中は、工事車両が町内を走行して大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



☆各ワーキンググループの進捗状況

※WGは、分野ごと（校長・教頭・教務主任・生徒指導）に笠原小中学校について議論する部会のこと。

★校長ワーキンググループ

・教師の研究について考えています

研究の主題(予定)

『自ら学び、仲間と共に「できた」

「わかった」を実感する指導』

・教師の指導部会、子どもの委員会活動

○学習指導部会

・学習図書委員会

・文化放送委員会

○特別活動指導部会

・児童生徒会

・環境美化委員会

○生活指導部会

・生活委員会

・給食委員会

・保健体育委員会

★教頭ワーキンググループ

・PTAについて

笠原小中学校PTAの発足は令和8年度からとなります。これまでは、新PTA規約案の作成に時間を費やしてきました。小学校と中学校の各PTA規約を生かしながら、活動方針や組織の具体、役員の選出方法などを検討しています。令和7年度は小学校PTAと中学校PTAが合同で役員会を行います。

・学校運営協議会について

令和7年度からは、笠原小中学校運営協議会として活動します。学校と地域がWIN-WINの関係を築き、子どものために学校のために、学習支援、地域活動支援、生活安全支援を行います。

★教務主任ワーキンググループ

・日課について

体育館等の特別教室を小・中学校それぞれが計画的に使えるように、電子で施設予約を行うことができるよう準備しています。これにより、来年度も小・中学校が同じ日課でスムーズに教育活動ができる環境が整います。

・年間指導計画について

令和7年度は小・中学校が同じ日に運動会(体育祭)を実施できるように、日程の他、運動会の内容についても協議を始めました。

また、9年間をかけて系統的に学習することができるように、総合的な学習の時間の指導内容や指導計画を検討しています。

★生徒指導ワーキンググループ

・制服について

ブレザーのデザインについて、保護者アンケートの結果を受け、制服等選定委員会において決定をしました。

来年度4月に現物を披露する予定です。

※移行期間 R8年度からR13年度までの6年間

※制服着用は義務教育学校9年間の7年目から

※靴下、靴については指定しない

・学校のきまりについて

子どもたちへの負担を減らすためにも、現在の小学校・中学校のきまりを基本ベースとし、細かな調整を図っていきます。

靴下、靴の指定なしということも、実は、中学校の生徒会中心に生み出された新たなきまりになっています。